

紋枯病の発生が県内全域で多い

～発生が多いほ場では直ちに防除してください～

- 1 病害虫名：紋枯病
- 2 発生作物：水稲
- 3 発生地域：全県
- 4 発生量：多い
- 5 注意報発表の根拠（現在までの発生状況と今後の発生予想）
 - (1) 7月23～25日に実施した巡回調査（県内100地点）における紋枯病の発病株率は3.9%（平年1.4%）、発病地点率は28.0%（平年14.6%）、要防除地点率は7.0%（平年2.8%）でいずれも高かった（表－1）。
 - (2) 発生は県内全域で確認されている（図－1）。また、発病株率、要防除地点率ともに過去12年と比べ最も高かった（図－2、3）。
 - (3) 7月26日に仙台管区気象台から発表された東北地方1か月予報によると、向こう1か月の気温は平年並又は高い、降水量は平年並と予報されている。
 - (4) 現在の発生状況に加え、今後も病勢の進展に好適な環境が続くと予想されることから、直ちに本病の防除対策を行う必要がある。
- 6 防除対策
要防除水準（穂ばらみ期～出穂期の発病株率が15%）を超える場合や、前年多発したほ場では以下の防除を実施する。
 - (1) 直ちに茎葉散布剤のバリダシン剤、バシタック剤、モンカット剤、モンセレン剤のいずれかを散布する（下表参照）。
 - (2) 薬剤は株元に到達するように散布する。

防除薬剤一覧

薬剤名	希釈倍数又は散布量
バリダシン粉剤DL	3～4kg/10a
バリダシン液剤5	1,000倍
バシタック粉剤DL	3～4kg/10a
バシタック水和剤75	1,000倍
バシタックゾル	800～1,000倍
モンカットファイン粉剤20DL	3～4kg/10a
モンカット水和剤	1,000倍
モンカットフロアブル	1,500倍
モンセレン粉剤DL	3～4kg/10a
モンセレンフロアブル	1,500倍

7 資料

表-1 巡回調査における発生状況(7月23~25日)

	発病株率	発病地点率	要防除地点率
県北部	3.1 (1.0)	22.6 (10.6)	6.5 (1.4)
県中央部	3.2 (0.7)	30.0 (10.1)	10.0 (0.8)
県南部	4.9 (1.9)	30.8 (17.7)	5.1 (4.5)
全県	3.9 (1.4)	28.0 (14.6)	7.0 (2.8)
概評	多	多	多

()は平年値

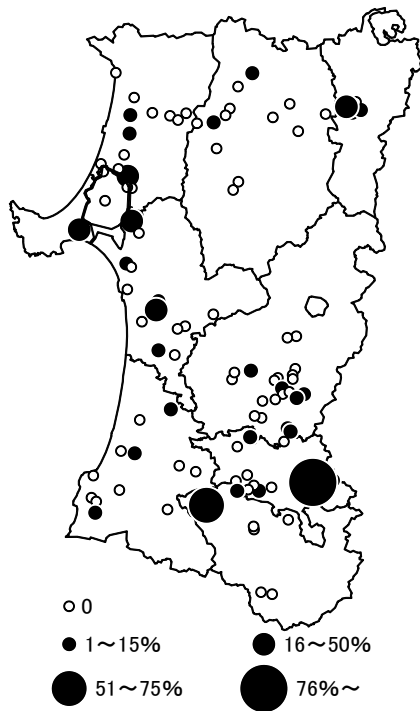


図-1 巡回調査における発病株率
(7月23~25日調査)

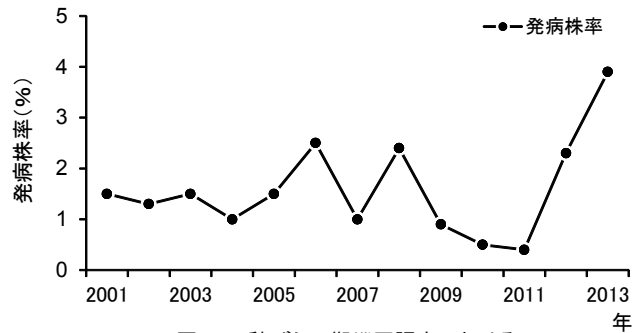


図-2 穂ばらみ期巡回調査における
発病株率の年次推移

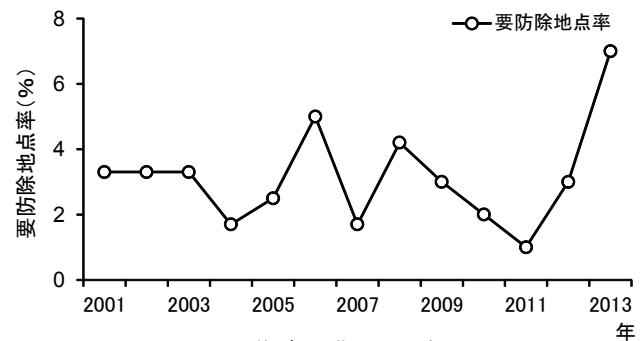


図-3 穂ばらみ期巡回調査における
要防除地点率の年次推移

【 問合せ先 】

秋田県病害虫防除所 TEL 018-860-3421
 秋田県農業試験場 TEL 018-881-3327
 掲載HP <http://www.pref.akita.lg.jp/bojo/>